

## 所信表明

岡山県医師会長候補 松山 正春

私は、平成 22 年に岡山県医師会理事に就任しました。その後、庶務担当理事、副会長として 8 年間の医師会活動を行いました。東日本大震災においては、“JMAT おかやま”のコーディネーターとして活動し、その際に、岡山県医師会員の高邁なプロフェッショナルオートノミーに触れたことが、医師会活動に深く関与する契機となりました。

社会保障部長としては、集団的個別指導の再開に向けたかじ取りを行い、石川会長の「ふつうの医師会になろう」の英断をいただき、苦渋の決断をいたしました。一部の会員からは不満の声も聴かれましたが、現在は、会員の理解をいただき、概ね支障なく運営されています。これも会員の皆様のご協力の賜物と感謝しております。

新会館の建設という大事業もありました。理事会終了後には、理事は 2 つ、3 つの会議や WG を掛け持ちし、終了は午後 10 時といった日もありました。非常に濃い 2 年間でしたが、幸い、県内外からの先生方からも好評をいただいております。この事業に関われたことに誇りをもっております。

さて、皆様からのご支援が得られ、会長に就任することができましたら、「会員第一」をモットーに会務を運営してまいります。現在行われている各種の事業が、会員のために資するものかをもう一度見直してみたいと考えています。

2025 年問題も避けては通れません。地域医療構想、地域包括ケアシステムの構築に向けた研究をより進化させ、得られた情報を郡市等医師会に提供し、連携と助言がスムーズに行える体制づくりを目指すとともに、医師会員がきちんと意見を主張できるシステムの構築を加速していきます。

予防医学の観点からは、“禁煙・受動喫煙防止”、“健康寿命の延伸”を進めていかなければなりません。国民皆保険を堅持する立場から、予防は今後の重要な課題であると考えます。これらのテーマには県民の協力が必要です。県民との対話の場を設けることで、岡山県医師会が行っている県民に対する事業がどのように評価されているかを知る機会になると考えます。

やらねばならないことは山ほどあります。役員一人ひとりが自覚をもって事業に邁進していきます。ご指導よろしく申し上げます。